

AREC・Fi i プラザ 第 249 回リレー講演会 (ドローン)



■日時：2022 年(令和 4 年) 10 月 13 日 (木) 13:30~16:40

■会場：Zoom によるオンライン開催

■主催：東信州次世代産業振興協議会・一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター

■後援：八十二銀行、上田信用金庫、商工中金長野支店、長野県信用組合、長野銀行(連携協定金融機関 5 行)

講演 1

13:30~14:30

【演題】「国内初！自治体運営によるドローン物流事業」

講師：伊那市 企画部長 飯島 智 氏

概要：伊那市では、2020 年 8 月から、買物弱者支援を目的として、ドローンにより市街地のスーパーから各地区の公民館まで商品をお届けする事業を開始した。ドローンの目視外自律飛行に関しては、航空法や民法などの規制により第三者上空を飛ぶこと自体ハードルが高いことや、万が一のリスクヘッジの観点から、河川上空を航路としている点が特徴となっている。また、公民館から注文者宅までのラストマイルは、安否確認や見守りを兼ねて、ボランティアの皆さんに商品のお届けをお願いしている。

講演 2

14:30~15:30

【演題】「伊那市ドローン物流サービスを支える KDDI スマートドローンプラットフォーム」

講師：KDDI スマートドローン株式会社 立岩 正之 氏

概要：中山間地域で増加傾向にある買い物困難者の支援を目的として、2020 年 8 月に国内初の自治体運営によるドローン物流サービス「ゆうあいマーケット」を伊那市が開始しました。同サービスにおけるスマートドローンプラットフォームの活用と構築のポイントをご紹介します。

<休憩 10 分>

講演 3

15:40~16:40

【演題】「ドローン物流の社会実装に向けた取組」

講師：国土交通省 総合政策局 物流政策課 課長補佐 古川 雄大 氏

概要：ドローン物流は、離島や山間部等における日用品や医薬品などの物流網の維持や災害時の物資輸送など、地域における社会問題の解決の手段として期待されている。また、日本政府は、2022 年度を目処として有人地帯におけるドローンの補助者なし目視外飛行（レベル4）の実現を目指すこととしているところ、ドローン物流の更なる発展が期待されている。本講演会では、国土交通省におけるドローン物流の普及に向けた取組や課題、今後の展望について紹介する。

●お申し込み先 AREC・Fi i プラザ事務局 宛

AREC のホームページ (<http://arecplaza.jp/>)

第 249 回リレー講演会【申込フォーム】からお申し込みください。

または 電話 (0268-21-4377)

[メール \(mousikomi@arecplaza.jp\)](mailto:mousikomi@arecplaza.jp)

FAX (0268-21-4382)



申込 QR コード

AREC・Fi i プラザ 第 249 回リレー講演会(ドローン) 参加申込書

2022 年 10 月 13 日(木)

企業・機関名			
参加者名			
所属・役職	電話番号		
メールアドレス	ファックス番号		